

平成 29 年度 学校評価報告書（目標設定）

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)		
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等	
1 教育課程 学習指導	<p>(1) 1 単位あたりの年間授業時間が確保できるように、授業時間と教育課程を見直す。</p> <p>(2) 自然科学コースが実践してきた様々な取組を、今後も特色ある学習活動として活かしていく。</p> <p>(3) ICT機器を利活用しながら生徒主体の学習活動を取り入れた授業づくりを学校全体で実践し、その成果を積極的に発信する。</p> <p>(4) 多様な学習課題を提供して家庭での学習習慣の定着を図るとともに、自ら学ぶことの楽しさや喜びを経験させる。</p>	<p>(2) 自然科学コースが培ってきた行事を、学校全体の取組として位置づけ実施する。</p> <p>(3) ICT利活用授業の研究をプロジェクトチームを中心に推進する。</p> <p>(4) 主体的な学びの確立を目指し、授業外での学習習慣の定着を図る。</p>	<p>(2) 自然科学コースが募集停止となった1年生にも周知し、参加を促す。校外講座として単位認定することも含め検討する。</p> <p>(3) ICT利活用授業研究プロジェクトを中心に研究を進め、校内での協議会をとおして、組織的にICT利活用を推進していく。</p> <p>(4) 学習習慣をつけるべき1学年を中心に、オンライン学習支援システム等を利活用し、生徒個々の学習時間を把握し、習慣の定着を図る。</p>	<p>(2) 自然科学コースが1年次に実施していた自然科学教室「富士山実習」に、生徒の参加を促すことができたか。また、実習のための事前学習・実験や事後の振り返りやまとめなど十分な取り組みができたか。単位認定が可能か教科、学年、グループで検討することができたか。</p> <p>(3) 組織的にICT利活用を推進し、授業改善につなげることができたか。</p> <p>(4) 主体的に学ぶ生徒を増やし、家庭学習など授業外での学習習慣の定着を図ることができたか。</p>						
2 生徒指導・支援	<p>(1) 自ら進んで規律やマナーを遵守する心を育むとともに、TPOを踏まえた行動や服装を促す。</p> <p>(2) 生徒や保護者が何でも安心して相談できる校内体制をつくる。</p> <p>(3) 学校行事や部活動を通して、生徒の社会性を育み、豊かな人間関係を構築する力を培う。</p>	<p>(1) 「過ごしやすい学校生活」を送るための社会生活上での規範意識やマナーを生徒に身につけさせる。健康で心豊かな人間性を養い、思いやりのある友人関係の構築を図る。</p> <p>(2) 教育相談体制を確立し、報告、連絡、相談が速やかになされるようにする。</p> <p>(3) 生徒が自主的・主体的に企画・運営に取り組む学校行事や委員会活動、HR活動を推進する。また部活動等を通して、目標に向けて粘り強く取り組む姿勢や規範意識、社会性を育成する。</p>	<p>(1) 学期の初めや終わり、学校行事などの機会をとらえ、生徒のルールやマナーに対する意識を喚起し、生徒が自ら正しく判断し行動できるよう支援を行う。挨拶の励行やいじめ防止教育などを通じ、他人を思いやる気持ちを育て、良好な人間関係の構築を図る。</p> <p>(2) 校内における教育相談体制を確立し、連携して生徒の指導、支援に当たる。よりの確な対応ができるようスクールカウンセラーとの連携を強化する。</p> <p>(3) 生徒が主体となって企画・運営する学校行事や部活動、HR活動を支援する。また、生徒がやりがいや達成感を感じたり、規範意識や社会性を高めたりすることにつながる指導・支援を行う。</p>	<p>(1) 様々な機会をとらえ、生徒が正しい判断、行動ができる支援を行えたか。「自由と規律」の意味合いをしっかりと理解し、行動に移せる生徒を育成できたか。呼びかけを行うことにより生徒の挨拶やいじめ防止に対する意識の向上が見られるようになったか。</p> <p>(2) 生徒の問題行動、事故などに対して学年、グループ等で連携して対応できたか。</p> <p>(3) 行事の企画・運営に生徒が積極的に関わることができたか。部活動の加入率を維持できたか。</p>						

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	(1)自分が本当にやりたいことを実現しようとする意欲ある生徒を育成する。 (2)自分の興味・関心・適性・学力など、生徒が自己理解を深めさせる取組を充実させる。	(1・2)自分の興味・関心・適性・学力など、生徒に自己理解を深めさせる取組を充実させる。	(1・2)外部機関のベネッセ、リクルート、社団法人Foraとの連携を図り、進路サポート、進学事典の適性テスト、アクティブラーニングによる学部・学科選択を利用する。自己推薦書を1年次に書かせることにより自己理解を深めさせる。夏期補習・冬期補習を充実させ、塾に頼らない学力向上を目指す。	(1・2)3年生は希望通りの進路決定ができたか。1、2年生は夏期補習・冬期講習を十分活用できたか。主体的に学習する生活習慣がついたか。進路目標が設定できたか。					
4	地域等との協働	(1)生徒に地域の一員であることの自覚を促し、生徒・保護者・教職員・地域間に協力関係を築き、学校と地域の絆を深める。 (2)学校づくりに関する情報を地域に向けて積極的に発信する。	(1)生徒に部活動の発表や音楽交流、地域清掃などを通して、地域や社会への貢献について、自分たちができることを考えさせ、地域の一員としての自覚を持たせる。 (2)学校づくりの取組や学校行事や学校説明会の予定、生徒の部活動への取り組み等を、生徒・保護者・地域社会に対してわかりやすく情報発信する。	(1)挨拶や清掃活動、音楽交流における地域貢献の意義をHRなどで伝えることで、地域の一員として活動していることを自覚できるようにする。 (2)学校ホームページを積極的に活用し、個人でも学校見学の申込等に利用できるようにするとともに、生徒・保護者・地域のニーズに合った情報を迅速に提供する。	(1)HRや部活動において地域の一員として自覚できるよう指導、支援できたか。 (2)学校ホームページでの情報発信が、必要ときにできたか。学校説明会等の申込みに、学校ホームページが活用されたか。					
5	学校管理 学校運営	(1)保護者・学校評議員・地域の方の意見を幅広く取り入れ、開かれた学校づくりを推進する。 (2)生徒が充実した学校生活を送れるように、安全安心な学校づくりを推進する。	(2)施設・設備の安全点検を行い、生徒が充実した学校生活を送れるように、安全安心な学校づくりを推進する。	(2)環境問題や環境美化に対する生徒の自主的、日常的な取組の推進をする。また、防災訓練などを通して生徒・教職員の防災意識を向上させる。耐震工事に伴う、仮設校舎への移動などを安全、円滑に実施できるよう計画を立てる。	(2)清掃活動や学校行事等で環境問題や環境美化に対する生徒の自主的、日常的な取組を推進することができたか。また、防災訓練などを通して生徒・教職員の防災意識を向上させることができたか。耐震工事に伴う、仮設校舎への移動などを安全、円滑に実施することができたか。					